

前の粗末なものでした。今は飽食の時代です。それ故、よほど偏食をしない限り、カルシウム摂取量は増えて当然なのです。しかしここ三十年の間、食事でのカルシウム摂取量が厚生省の推奨値の90%前後から増えないのは、欧米人と比べて乳製品が少ない食習慣のためです。しか

さすれば加齢に伴う変形性骨関節疾患や骨折の予防、治療をしていることになるのです。

参考までに付け加えれば、乳製品を多くとる欧米諸国のカルシウム摂取量は軒並み日本の基準値を大きく越えていますが、骨折を起こす頻度は日本の二倍から三倍です。

の粗鬆化の程度 こ
はたかが知れて
ますし、薬を使うことでもつと
面倒な病気になる可能性もあります
ので、決して鵜呑みにして
はなりません。更に更年期に骨
粗鬆症が進むのは女性の宿命と
思っててしまうと、丈夫な骨を保
つために他人（医師）には出来

ナボリ地方に伝
えられた格言ですが、日光が健
康と長寿に不可欠な要素である
という自然の定めを表していま
す。この格言を裏付ける明確な
具体例としては、十八世紀の中
頃になつて多発したクル病があ
りますが、近年では骨粗鬆症を

の病気を単に骨折の原因としてとらえるのは大きな誤りです。健康状態から生活習慣病（成人病）やアレルギー疾患やガンやボケのような、ちょっと見ると無関係と思われる病気まで、カルシウムパラッドックスが関わっているからです。

骨粗鬆症の原因はカルシウムだけではない
骨粗鬆症というと、即座にカルシウムが足りないとと思うほど、日本ではカルシウムは重視されています。無論、カルシウムは大切ですが、骨粗鬆症の原因はカルシウムだけではありません。脚気はビタミンB欠乏症というのとは違うのです。

まず日本人のカルシウム摂取量は、昭和40年代以降、明らかに増えました。顧みて、昭和30年代までの食事は、今や死語に等しい一汁一菜（一種類の吸い物と一種類のおかず）が当たり

ムは薬として、飲料として、あるいは栄養補助食品として巷にあふれていますので、特に骨粗鬆症を気遣っている年齢層の人々の摂取量は言われるほど不足していると思われます。

これに反し、骨を丈夫にする上で欠かすことの出来ない、日光を浴びてビタミンDを生成し、身体はこまめに動かす、自然に則した暮らしは以前に比べ明らかにおざりにされています。これが骨粗鬆症の悪化要因になることに気付いて、生活習慣を改めれば、骨が丈夫になるだけではなく、運動能力も鍛えられます。

更年期になると、女性ホルモン分泌が減少し始めると、急激に骨の粗鬆化が促されるので、女性ホルモン補充療法をすべきである、と いう話をよく聞きます。しかし、実際には、更年期の数年間の骨

女性は更年期になつて女性ホルモン分泌が減少し始めると、急激に骨の粗鬆化が促されるので、女性ホルモン補充療法をすべきである、と いう話をよく聞きます。しかし、実際には、更年期の数年間の骨

骨粗鬆症をどのようにとらえるか
—自然と共に生きて生きる—

その3

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮 光明

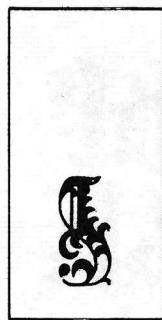
を示しています。高齢者の場合も同様で、子供や孫が努めて日光浴や運動の手助けをしてやる必要があり、そうすることで骨の粗鬆化や病的骨折を予防出来るのであります。

健闘と光線教

発行所
〒153
東京都目黒区目黒
4-6-18
サナモア光線協会
年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

あげることが出来ると考えて
ます。

今は母乳で育てられている乳
児のカルシウム代謝を円滑にし
てクル病を防ぐため、日光浴を
させるように指導されます。こ
んな指導は人間以外には必要あ
りませんが、文明社会では日光



早期発見では遅すぎるか

は、肺癌で早期に手術をした症例と手術をしなかった症例を比較して、生存期間には殆ど差がないと告白している。つまり急速に進行する性質の癌は、早期に手術をしても抑えることは困難であり、手術が成功したように見えるのは進行の遅い性質の癌に限られる、というのである。

進行した癌の場合、ベテランの外科医が如何に巧みに手術をしても、癌細胞を完全に取り除くことは不可能である。また術後の癌患者の再発は一年以内が

一九五八年、臨床医学に関する国際会議で、スタンフォード・ケード卿は、「これから癌研究は種子（癌）から土壤（癌個体）の方に移つて行くだろう」と述べられたが、癌の発生と癌患者の身体機能との関係を

発育が早まることが関わっていると指摘する医師もある。東大の外科教授の石橋幸雄博士は、乳癌の手術を受けた患者で、手術をしていない残された乳房に癌が再発する率は、手術をしなかった患者の二倍であるから、手術には無条件で賛成できないと発表している。

しかばん癌の診断は死刑の宣告に等しく、絶対に治らない病気であろうか。一方で、癌になつても必ず死ぬとは限らず、ある時期に進行が止まつたり、段々小さくなつて自然に治癒する症例のあることも現実に知られている。学者の中には、癌患者で血液に癌細胞が相当数あるにも拘らず、転移を起こさない患者のあることに着目して研究している人もいるが、未だ解決の曙光を見るに至っていない。

タネか土壤か

発育させないということである。このように癌が進行するかしないかを決めるのは、癌の性質にもよるが、身体の状態とも深く関係する。種子を蒔いても土壌が適していないと発芽しないか、発芽しても生長できずに枯れてしまうようなもので、癌についても、タネ、すなわち癌について

癌の侧面

宇都宮 勲直

ところで癌患者はサナモアを応用して予期した以上の好成績をしばしば経験するが、サナモアが癌患者の身体機能に作用して、癌を抑制する力を強めたため、と考えている。

癌にかかる人とかからない人がある理由ではあるまい。したがって癌に対しても、むしろ体质を改善することによって、癌にかかるない身体、癌にかかるても自然に治癒するような身体を造つて予防することを心掛けることの方がよいのであるまい。今後、ケード卿がいわれた土壤に関する研究の進歩を期待したい。

研究することの必要性を提起したものとして傾聴すべき言葉である。

癌患者に サナモアを応用

てだけでなく、土壤、すなわち癌患者の身体機能の面について研究するように提言したのであ

苦しみなく息を引き取る —大腸がんの主人と過ごした九年間—

東京都 S・M

苦しみなく息を引き取る 一大腸がんの主人と過ごした九年間—

東京都 S・M

ましたが、先生は光線療法をすることにも賛成してくれました。それで病院ですすめられた漢方薬と光線療法で治療することにして退院しました。

主人には病名を告げておりませんでしたので、治って退院したと信じていました。そのため病院に通院することや漢方薬を飲むことを嫌がることもありましたが、光線療法を嫌がることはありませんでした。でもそのうちに習慣になつたのか、何か

を感じたのかわかりませんが、病院に行くのも漢方薬を飲むのも嫌がらなくなり、光線も朝の起きしなや夜の寝しなに一人でかけている姿をよく見掛けま

子が良いね、と言われて嬉しそうにしていましたが、私は何時何が起きるか気が気でなく、不安な日を過ごしていました。主人は仕事を息子にゆずつてからは、盆栽を趣味に楽しんで

ん。でもだるかったのだと思いま
すが、盆栽の手入れも熱意が
なくなり、横になることが多く
なり、光線も面倒くさがるよう
になり、無理にでもかけるよう
になりました。子供達は年だか

家族の選択

宇都宮
光明

世の中には建前と本音がつきものだが、昨年来、近藤誠氏（慶大医学部講師）の“患者よがんと闘うな”、という挑発的な表題の書籍が評判になり物議をかもしている。医師はあらゆる病に対し最善の治療を行う、という建前でいえば、“手術は無用、抗がん剤治療の90%は無意味、がん検診は無駄”、というのは言語道断であろう。しかし一方で、医師の本音を隠さず正直に吐露している、と評価する向きもある。当研究所の前

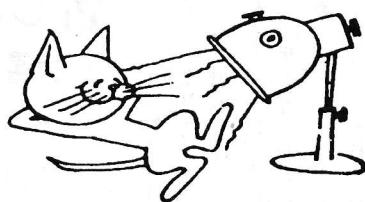
所長、宇都宮義真も、『癌の側面』(二面)で同様な疑問を投げ掛けているが、先端的な医療行為には未知の領域に属するものが多く、常に正しく最善とは限らないからである。

ろうが、医療現場の実態を察知したことなどが関わっていることに間違いはない。S・Mさんも、病気と一緒に伴う苦痛や抗がん剤の副作用についてしきりに質問され、治療を拒絶した場合の病院の対応を心配していたことを覚えている。

掲載した体験談はS・Mさるの希望で匿名としたが、患者の晩年の幸せを家族でささえた話である。これには家族の選択に応えてくれた医師の協力が大きな助けになつたものと思われるが、私にとつても教わることが多い。殊に最後に死という結果の中で感謝の言葉を聞けたのは、意外の喜びであり、私こそ心から有難うございました、と申し上げたい。

までの経過を書いた依頼状をあげます、とまでいってくださいました。

それからは日に日に弱っていきましたが、それでも何の苦しみも訴えません。そして家族に看取られて眠るように息を引き取りました。大腸がんの手術を受けてから九年間、入院することもなく過ごさることができました。本当に有難うございました。



— 治 驗 例 報 告 —

集光器を使い、焦点を耳の穴に合わせて10分、耳の後に20分、鼻10分、喉10分、腹10分、A B カーボンで膝10分、足裏20分、それぞれ照射した。

これから再発しないよう治すためにも、耳だれがなくなつたからと光線照射をやめないで、更に三、四ヶ月は続けるように話した。

上野 健太郎氏報告
神戸市 ウエノ光線療研

☆急性乳腺炎

症例
22歳 女性

四日してから膿性の耳だれの排
出量が増えたこともあったが、
その後はだんだん少くなり、
痛みは四、五日で消失し、それ
まで少し耳が遠くなつたことを
感じていたが、聞こえが良くなつ
てきたようだ、といつていた。

症状 生後一ヶ月程した男児の母親であるが、授乳中に両方の乳房が赤く腫れ上がり、熱を持ち、痛くてしようがないという表情で来所した。勿論、今は授

☆炎症性粉瘤

症例 53歳 女性

症状 初めは背中にある表面が平滑な脂肪の固まりのような隆起物(腫瘍)の治療について相談されたので、病院で診察を受け適応があれば手術的に摘出してもらうように勧めた。その三

療法経過　治療は側臥位で患部には一号集光器を使い、BCカーボンで30分照射した。その外に側臥位で、ABカーボンで同時に腹と足裏10分、腰と膝10分、次に仰臥位で、左右から肩に5分、腰に5分、膝に5分照射した。

☆慢性中耳炎

症例 20歳 女性 大学生
症状 小学校二年生の時に急性

罹り、丸三日寝込んだ際に、耳
だれが黄色がかって濃くなり、
耳に痛みを感じるようになつた

勧められ来所した。

療法経過 A D カーボンで 一号

サナモアカーボンの 類似品にご注意下さい

た著書「光線療法医学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法医学」をセットしたり、サノモアABCドと効果が同じという根も葉もないいう文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時何世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので、各々もご注意下さい。

（サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついてます。）

乳は出来ない
治療経過 一台は基本照射をするためにA Bカーボンで、足裏足首、膝、腰、腹、背に各20分づつ照射し、もう一台は患部の

乳房にBCカーボンで、始めは全開で片方30分つづ両方に照射し、その後に一号集光器を使つて片方に30—60分位、両方に痛みが和らぐまで照射した。

じのする物で、空気は触れて少し硬くなった。これを取り除いてから、患者は気分がとても良くなつたと話していた。

それからは症状ははっきり改善し、十日目頃には自潰した瘡が目立たなくなり、十八日目に完治して治療を打ち切った。

なおサナモア中央診療所の宇都宮先生に出てきた固まりを目指し、粉瘤の診断を確定した。

所に膿が出る口が出来て血の混じった膿性物が排膿し始めた。その日は排膿がほぼ止まるまで照射したが、終わって帰宅される時には痛みは殆どとれて楽になった。それからも一度来所され治療したが、その後は購入した治療器で自宅で治療して完治した。

川崎市 東京光線治療院

春日市 育美健康光線療研
山崎 一子 氏 証

一九四一—一九四七—一九五七
海渡氏報告

一九二一五八一一〇三九

(五ページからつづく)

ました。実は皮膚ガンの中に、がんもどきにぴったりのガンがあります。このガンは紫外線と関連が最も深く、日本人の皮膚ガンの中でも最も多い基底細胞ガンです。アメリカのレーガン大統領がかかった皮膚ガンですが、この病気で亡くなることはないでしょ。診断名だけでここまで言い切る訳を説明しましょ。

基底細胞癌の多くは、長年日光に当たった顔の中央部に発生し、黒い腫瘍をつくります。

成長は大変遅く、1~2センチになるのに数年かかり、始めのうちは自覚症はありませんが、大きくなると中央部は潰瘍化し、放置すると患部が腐って脱落します。しかし転移することはまずありませんので、患部を摘出すればよく、命まで奪うことはまずありません。すなわち組織的にはガンだけど性質は極めておとなしく、そのため基底細胞ガンではなく基底細胞上皮腫というガンとは異なる病名にします。よう主張する学者もいます。

皮膚ガン」といふと、前述の基底細胞ガン（基底細胞上皮腫）と有棘細胞ガンが主な病気です。有棘細胞ガンは悪性で遠隔転移も起こしますが、多くは放射線照射部位（放射線癌ともいふ）

や火傷や外傷などの古い傷痕の
瘢痕（瘢痕癌ともいう）やウイ
ルス性の疣などから、十年から
二十年くらいして発生します。

表面は紅く盛り上がり、じくじくして、中央から自潰し易く、ちょっとと触つただけで出血します。このガンは紫外線によつても発生しますが、それには五十年以上の年月を必要とするため高齢者に多く、外皮の角質層が肥厚し前ガン性病変とされている症状の腫瘍、すなわち老人性（日光）角化症から発生します。しかし紫外線によるものは全有棘細胞ガンの四分の一以下で、他の原因のものと比べて転移も遅いとされています。

機構が欠損する色素性乾皮症（DNA復生酸素欠損症）では、日光照射を受けた露出部に有棘細胞ガンを始めさまざまに皮膚ガンを高率に生じますが、本症は極めて稀で、外に知的障害、構音障害、難聴、発育障害などを認めます。

足底に好発する 悪性黒色腫（メラノーマ）

広義の皮膚ガンの中で、ほくろ（母斑）が極めて稀に悪性化する悪性黒色腫は、悪性度の高いガンで、遠隔転移を起こしやすく、治療に抵抗します。日本人（有色人種）で最も好発する部位は足底ですが、その外に手掌、爪床、口腔、外陰部などのほくろ、

るが短期間のうちに大きくなったり、かゆみや発赤が出てきたら、悪性黒色腫の可能性があります。

このように日本人の悪性黒色腫はむしろ日焼けとの関係が希薄な部位に好んで発生しますが、白人は背中、上肢、頭部、頸部など露出するところに好発し、かつ増加傾向にあることから、悪性黒色腫とUVBとの関連がしきりに論じられています。

太陽光線の大恩は不変

紀元前五世紀に生を受けた医聖、ヒポクラテスは、自然治癒力を名医に譬え、名医を働くかせられるには日光浴が欠かせないと述べています。燐々とふりそそぐ日光は、長い間、人々にとって畏敬の対象であり、健康的シンボルでした。しかるに近年になって、オゾン層の破壊で増加が危惧されるUVBの皮膚障害を過大に喧伝する傾向が強まる一方で、太陽光線の大恩を忘れ、日光を浴びるべきか浴びざるべきか、戸惑いを感じている人が増えたことも否めない事実です。しかし人類が自然環境を破壊しない限り、もともと自然に存在するものでデメリットがメリットに勝るものなどあるはずがありません。言うまでもなく、太陽光線の非を唱えるのは筋違いで、その大恩は決して変わることはありません。

るが短期間のうちに大きくなったり、かゆみや発赤が出てきたら、悪性黒色腫の可能性があります。

このように日本人の悪性黒色腫はむしろ日焼けとの関係が希薄な部位に好んで発生しますが、白人は背中、上肢、頭部、頸部など露出するところに好発し、かつ増加傾向にあることから、悪性黒色腫とUVBとの関連がしきりに論じられています。

太陽光線の大恩は不変

天地創造の苦から、眞の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えていきます。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に心して適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同載いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

チモア光線協会
医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

(本紙の無断転用を禁止します。)

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18
サンモア光線協会 TEL(03)3793-5281

廿二七丁 光緑協會